

競技注意事項

- この大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により審判する。
- この大会は、第72回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会の予選会とする。
 - 各種目とも、男子4位(4名)・女子3位(3名)までが県大会の出場資格を獲得する。
但し、競歩競技は1位(1名)のみとする。
三段跳は、地区出場枠に入った者のうち、男子は11m50以上、女子は9m50以上の者とする。
ハンマー投は、地区出場枠に関わらず、出場標準記録(下記)を設け最低12名(県下)とする。1年男子：23m00、2年男子：30m00、1年女子：20m00、2年女子：23m00
 - 地区予選会の結果、出場資格を得た者を除いて、全県で各種目とも記録上位の者(男子8名・女子7名(競歩競技は男女各5名))を+αとして、出場資格を与える。
- 招集について
 - 招集場は、本部ダッグアウトの上段に設ける。
 - 種目別の招集開始および完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。
 - 招集の手順
 - 1次招集終了時刻までに招集所に掲示するエントリーリストに○印をつける。
その際、トラック競技(リレーを除く)のうち、800mまでの決勝種目では別ナンバーを、1500m以上の種目では別ナンバーと別腰ナンバーを受け取ること。
 - 最終招集時刻にトラック競技(リレーを除く)は各種目のスタート付近、フィールド競技は各種目の待機場所において点呼を行う。リレー競技の最終招集は本部ダッグアウトの上段で行う。
その際、アスリートビブス(ナンバーカード)、スパイク等の点検を受けること。
 - 点呼の代理は認めない。但し、同一時刻に2種目以上出場する者は、必ず**事前(第1種目の1次招集終了時刻まで)**に競技者係に申し出て許可を得ること。その際、招集に来ることができない種目の点呼(アスリートビブス、腰ナンバーカード、スパイク等の点検)を受けておくこと。
 - 最終招集に遅れた競技者は、棄権と見なす。
- 練習については、補助競技場が付設されていないので、競技に支障をきたさない範囲で競技場内での練習を認める。但し、投てき練習は一切認めない。
- 3000mSCの予選は競技場施設の関係で、障害物を2台設置した未公認レースで選手を選考する。
- スターティングブロックを含め、用具については競技場備え付けのものを使用する。
但し、ハンマー・やりは数が少ないので、各校より持ち寄るものとし、その用具については、競技開始時刻の1時間前に、本部横で検査を行う。
- レーン順と試技順は、プログラムの各自のナンバーの前に記載の番号順とする。
- 決勝の組合せは、すべて番組編成員が公平に抽選し、招集場に掲示する。
- リレーのオーダーは、招集場で競技者係から用紙を受取り、オーダー他必要事項を正しく記入し、最終招集時刻の1時間前までに競技者係に提出する。
- バーの上げ方は、次のとおりとする。

走高跳	男子	練習(1m20)	試技 1m25 ~ (以降 1m75 までは5cmきざみ)
			1m78・1m81 ~ (以降 3cm きざみ)
	女子	練習(1m00)	試技 1m05 ~ (以降 1m45 までは5cmきざみ)
			1m48・1m51 ~ (以降 3cm きざみ)
棒高跳	男子		試技 2m00 ~ (以降 3m00 までは20cmきざみ)
			3m10・3m20 ~ (以降 10cm きざみ)

順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
- 競技場で使用するスパイクピンの長さは9mm以下の全天候型ピンを使用すること。但し、やり投と走高跳は12mm以下とする。先端の尖ったニードルピン等は走路を傷めるため禁止する。